

# 住民主体のまちづくり

No.34 2016. 9

編集発行：車尾まちづくり推進会議 事務局

## ■ 中学生とまちづくりワークショップ

東山中学校区で生徒会執行部の生徒と啓成・車尾地区の大人との懇談会を行うことで、中学生の生活意識や実態を理解するとともに、地域の大人の思いを子どもに伝えることにより相互理解を図りまちづくりに活かす目的で意見交換が8月3日（水）に東山中学校図書館で意見交換が行われた。まず、啓成・車尾両地区の大人代表6名ずつが中学校会議室に集まり、中学校生徒会執行部8名と対面しました。まず自己紹介し、次に生徒から東山中学校生徒会の組織と活動状況の説明がありました。その後4つのグループに分かれて、「住みよいわがまちをめざして」というテーマで①わがまちの良いところ、②困っていること、③こんな行事があったらいいな等の項目について順次、個人意見を1枚ずつ付箋に書き込みます。次に、それらの付箋の中から近い感じのする内容を集めてグループ化していきます。こうした作業の中から、テーマについて意見集約や意思統一を生み出していきました。最後にグループごとに発表し、全体としてテーマについて他のグループの意見が確認できました。

生徒会長は「地域の方々とこの話や未来の話がしっかりできました。大人と生徒の懇談がしっかりできました。」

地域の男性は「生徒会の皆さんはとても貴重な経験を重ねていますね。任期の最後まで『たのしんで』取り組んでほしいです。」

地域の女性は「すばらしい懇談会でした。生徒会のしっかりとした運営に感動！これからも見守っていきます。」

女生徒は「私の住んでいる地域についても話し合うことが出来たし、他の地域についても知ることができました。今日の話し合いから地区を超えた行事などができるといいと思います。」

など前向きな感想が寄せられました。

## ■ 第1回車尾ふれあい祭り

米子市におけるまちづくりの総合的な指針である第3次米子市総合計画（2016～2025）は、まちづくりの課題でトップに挙げられた「未来の活力とにぎわいを生み出す、魅力あふれるまちづくり」を踏まえ、今年度から車尾のにぎわいを生み出す『ふれあい祭り』が9月3日（土）午後4時から午後8時まで実施された。



住民だけの発想で「地域の老若男女問わず気兼ねなく集い・楽しみ・会話し・知り合い・地域の仲間意識を醸成する機会とする。」ことを念頭に置いて協議を重ねました。初めてと言うこともあり関係者の間では不安が続きました。そして当日、台風の心配も消え、オープニングのそうめん流しはあっという間に数十名の行列ができました。



また米子神農協同組合の店舗も10店以上協力いただき売り切れる店も出ました。特設ステージではカラオケ大会やマジックショー、大正琴、銭太鼓など多彩の発表があり、フィナーレの午後7時過ぎからの福引き大抽選会には券を持って数百名が待ち構え、数字を読み上げられると歓声が上がり最後まで賑わいだ祭りでした。

来年の企画が、大変だと思いました。

自分たちのまちは自分たちで（ つくる つなぐ つづける ）